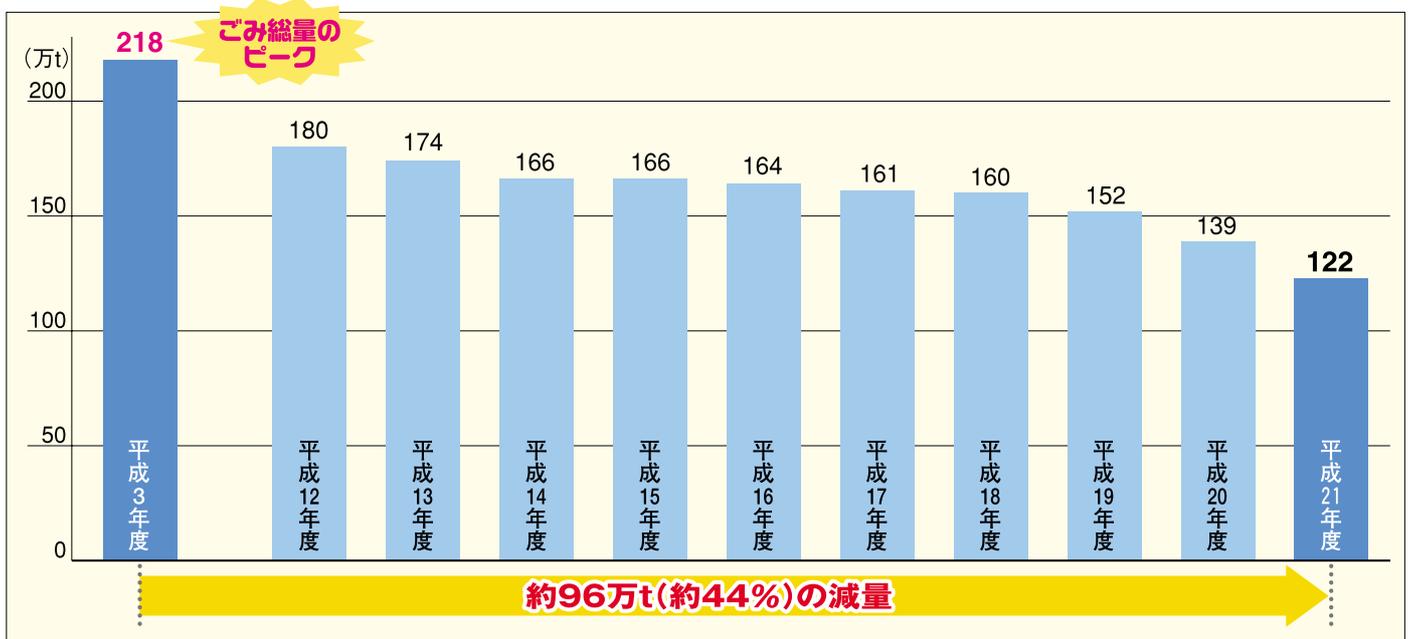


ごみの状況について

◆ごみ総量の推移

大阪市内から平成21年度に排出されたごみの総量は122万トンとなり、ピーク時（平成3年度）から約96万トン（約44%）の減量となっています。



◆ごみ処理量の推移

平成21年度のごみ処理（焼却）量は、118万トンとなりました。これは、平成20年度のごみ処理量135万トンに対し約17万トン（約13%）の減量であり、平成3年度のピーク（217万トン）以降、これまでにない大幅な減量となりました。

ごみ減量の要因としては、長引く景気の低迷の影響も想定されますが、市民・事業者の皆さんのごみ減量・リサイクルについての意識の高まりや、とりわけ事業系ごみの減量にかかわっては、「適正区分・適正処理の推進」として、排出事業者向け説明会の開催やパンフレットの配布などの啓発に努めるとともに、焼却工場における展開検査を強化し、産業廃棄物などの搬入不適物が発見された場合には、収集業者や排出事業者に適正な区分方法や処理方法について指導を行うなどの取組を進めたこと等が、事業系ごみを中心として大幅なごみ減量につながったと考えられます。

